

次世代経営者・管理者に贈る

今日のひとこと集

1

(人生編・経営編)

(株)アクセス

安武 史朗



次世代経営者・管理者に贈る

今日のひとこと集

1

（人生編・経営編）

（株）アクセス

安武 史朗

我が人生のみちしるべ

(The Guidepost of My Life)

「ちよつとためになる面白い話」

人は、この世に生を受けた瞬間、さまざまな苦しみや悩みが始まる。

そしてその苦しみや悩みから一生逃れることはできない。

このメモは、そのようなこの世を生きていくための心の支えや一服の清涼剤として、またこころを磨き、自分を鍛えるための自己啓発資料として平成元年頃から折に触れ心に残った言葉を書き留めたものの集大成であり、今も追加中です。

自分自身これらの言葉に随分勇気つけられ、また自己啓発に役立ったと思っています。

●私の座右の銘は「人間万事塞翁が馬」です。

これは、「淮南子（えなんじ）」に出てくるもので、「人間（じんかん）」と読み「人の世」

という意味、人生は吉と凶、禍と福、幸と不幸が入れ替わり訪れるので、何が禍い何が幸せになるか分からない、従って現在の環境だけを見て喜び、また嘆き悲しんだり、目先の幸不幸に一喜一憂してはならないという意味です。

●モットーは「リズム・バランス&タイミング」です。

世の中には流れ（リズム）があり、その流れの中で、調和（バランス）と好機（タイミング）を読み取ることが肝要である。

●好きな字は「無」と「和」であり、墓石にも刻みました。

また、好きな言葉では「謙虚」や「哀愁」などで日ごろよく使います。

今日のひとこと (1) 「初志貫徹」

「初志貫徹」と「意固地になる」、「意地を張る」とは意味が違う。初志貫徹は意志の強さをあらわしたものであり、成功すれば美談だが失敗して人生を棒に振った人は多い。

人生も常に軌道修正する勇気を持ち、意固地にならないことが大事である。早期発見早期修正。

今日のひとこと (2) 「日々の努力」

クラーク博士の「少年よ大志を抱け」という言葉はあまりにも有名であるが、実は後に続く言葉が重要である。

「されど日々の努力を怠るな」

今日のひとこと (3) 「バカ」

バカを一度通ってきた利口と、ずーっと利口はどこか違う。

(寺田寅彦)

さてあなたは？

今日のひとこと (4) 「善は急げ」

「善は急げ」というが悩みや問題解決は明日解決せよ。良いことは早く行動したほうが良いが、悩みや問題解決は早く苦痛から逃れようと、あせればあせるほど泥沼に陥ることがある。一晚寝て明日になると気分が落ち着き、意外と冷静になり解決の糸口が見出せることがある。

今日のひとこと (5) 「成功のルール」

「たった今やっている目の前のつまらない仕事に奮い立つことができる人が成功する。」面白い仕事とつまらない仕事があるわけではない、なにをやっても面白がつてやる人とつまらなさそうにやる人がいるだけだ、情熱の差である。(成功のルール、チャーリー・ジョーンズ)

今日のひとこと (6) 「言うべきこと」

「言うべき事」と「言いたい放題」を混同するな。また、世の中には言うべき事と、言ってはいけない事と、言ってもどうにもならない事がある。言ってもどうにもならない事は口に

出すな、空しくなるだけである。

今日のひとこと (7) 「悩み」

人は（企業も）悩んでいる限り救われる、問題や悩みがあるうちは最悪ということではない、最悪とは何も問題意識がなく悩みもしない事である。

今日のひとこと (8) 「正義」

何がなんでも真面目（まじめ）が良くて不真面目が悪いということは間違いである。世の中のトラブルの半分は真面目が原因でおきている。戦争や宗教・民族紛争などは正義と正義のぶつかりであり正義ほどあてにならないものはない。そういえば「曲がったことが嫌い」と正義感を自称する困った人がいますねえ。世の中曲がつているのに…

今日のひとこと (9) 「失敗」

「失敗は成功のもと」ではない、失敗はあくまで失敗である。敗を反省し糧として同じ失敗を繰り返さぬよう努力する事である。また、失敗にもやり直しの利くものと利かないものがあることを知れ。

今日のひとこと (10) 「人脈づくり」

人脈づくりで大切なことは自分が魅力ある人間であるかどうか、自分に魅力が無ければ人脈はできない、人はよく見ている、人の目はごまかせない。人脈作りは自分作りである。

今日のひとこと (11) 「運」

成功の秘訣は「努力」と「才能」と「運」であり、最も大事なものは運である。人には平等にチャンスが与えられている、このチャンスを見抜くのも能力である。また、人生は5割の運、3割の才能、2割の努力とも言われる。努力だけで報われるほど人生は甘くない。

成功の陰には必ず説明できない何か、「運」がある。ただしこの言葉は成人向けであり、間違っても子どもに言ってはならない。

今日のひとこと (12) 「心をしなやかにする八か条」

1. 心の座りをしっかりと作る事
2. 気分本位を止めること
3. 完全主義に陥らないこと
4. 過去にこだわらないこと
5. ひがみっぽくならないこと
6. 目先にこだわらないこと
7. 腹をたてないこと
8. 不安を受け入れること

今日のひとこと (13) 「許す」

弱い者ほど相手を許すことができない、許すということは強さのあかしだ

(マハトマガンジー)

今日のひとこと (14) 「つらい、苦しい」

一年の中で一番寒いのは春の少し前であり、夜のうちに一番暗いのは夜明け前である、今が一番つらい、苦しいと思うならば後は長くない、あと一息だ。春も夜明けも必ず来る。

今日のひとこと (15) 「分かる」

「理解した」ことと「分かった」ことは違う。理解はしても行動を伴い結果に結びつかなければ「分かっている」事と同じである。特に最近では実行や行動を伴わないで、知識や理屈で理解して「分かった」と錯覚する人が多い。

今日のひとこと (16) 「人とのつきあい方」

人との付き合い方、よい人間関係を作るには腹六分がよい
友人関係も「就かず離れず」を心がけると長続きする。

(福沢諭吉)

今日のひとこと (17) 「すすんでやる」

すすんでするのが人の上

まねしてするのが人の中

言われてするのが人の下

言われてせぬのが人のクス

今日のひとこと (18) 「忘れる努力」

記憶力も才能ならば忘れることも能力のうちである、いやな事は忘れるよう努力すべきだ。
有能なスポーツ選手は失敗を引きずらない。

今日のひとこと (19) 「知識と知恵」

知識は教えられるが知恵は教えられない、知識を生かすのが知恵である。実社会では知識だけの優等生より知恵のある賢い人が尊重される。

今日のひとこと (20) 「最初の詰め」

詰めは後に回すな、最初に言いにくいこと避けたい部分を詰めておくこと、後に回すからめ事が起きる。

今日のひとこと (21) 「二面性と本質」

物事には全て二面性がある。表と裏 陰と陽 プラスとマイナス 経済性と環境破壊 本音と建前 等等、同じ現象でも見方や立場が変われば全く逆になる。

アメリカが言うテロも当事者に言わせるとレジスタンス（民族運動）となる。

報道や言論、見かけに左右されるな

「この本質を見る目を養え」

今日のひとこと (22) 「今を愛する」

現在所属している組織や人を愛せない人は、これから出会うであろう組織や人も愛せない。

今日のひとこと (23) 「やる気」

やる気のある人はやり方を考え、やる気のない人は言い訳を考える。

今日のひとこと (24) 「時間厳守」

約束の時間には絶対遅れるな、「謝りの言葉」から始まり、その時点で負けである。



今日のひとこと (25) 「勇気」

戦争で鉄砲の弾はなぜか臆病者に当たる。

人生には勇気が必要である、勇気を出して未知の未来に向かい失敗をおそれず前進すべきだ、背を向け不幸を恐れる気持ちが不幸を呼ぶ。

そういえばドッジボールで、ボールに背を向けて逃げ回るやつにボールはよく当たる。

今日のひとこと (26) 「時間」

「時間」は全ての事を解決してくれる、「時間」は最高の妙薬である。

忍耐と辛抱でじっと我慢し耐え抜くパワーを身に着けること。

今日のひとこと (27) 「謙虚」

「自信」が強いとうぬぼれる、「不安」が強いと臆病になる、自信と不安が半々でバランスがとれていると謙虚になる、人間には謙虚さが大事である。

今日のひとこと (28) 「努力と結果」

結果に結びつく努力をせよ、いまだき一生懸命ぐらい誰でもやっている。
頑張ったかどうかが評価されるのは小学校の通知表までである。

今日のひとこと (29) 「リーダーシップ」

リーダーシップの条件（心、技、体）

- ・豊かな人間性とカリスマ性
- ・鋭敏な頭脳と感性
- ・強靱な体力と熱い情熱
- ・協調性と競争心のバランス



今日のひとこと (30) 「薬と毒」

薬は反面毒であり特効薬ほど副作用が強い、人も同じ、できる人は癖が強い。人も使い方次第で毒にも薬にもなる、毒の強い人を薬として使いこなすのがリーダーの力量である。逆に毒にも薬にもならない人、全てにいい人は仕事もできない。

今日のひとこと (31) 「つもり十訓」

1. 高いつもりで低いのが教養
2. 低いつもりで高いのが気位
3. 深いつもりで浅いのが知識
4. 浅いつもりで深いのが欲望
5. 厚いつもりで薄いのが人情
6. 薄いつもりで厚いのが面皮
7. 強いつもりで弱いのが根性

8. 弱いつもりで強いのが自我

9. 多いつもりで少ないのが分別

10. 少ないいつもりで多いのが無駄

今日のひとこと (32) 「変える」

過去と他人は変えられないが、未来と自分は変えられる。

今日のひとこと (33) 「決断」

決断とは「決めて断つ」ことである。一つの選択肢を決め (一) 迷いを断つ (二) 退路を断つ、即ち後戻りはできない覚悟をすることである。

完全に断つことができないまま決めると後で悔いが残る。

今日のひとこと (34) 「自分に勝つ」

人に勝つことを求めるよりも、自分に勝つ道を見つけるほうが一番の近道である。

今日のひとこと (35) 「好きになる努力」

好きなことを楽しくやれ、嫌いなことをいやいややるから疲れる、やらなければいけないことを好きになる努力をする。

今日のひとこと (36) 「人間関係」

人間関係には次の三つがある

1. 話さなくてもわかる人
 2. 話せばわかる人
 3. 話してもわからない人
- 特に3の人とはかかわらないこと。

今日のひとこと (37) 「ワンマン」

ワンマンにも良いワンマンと悪いワンマンがある、ワンマンのリーダーが、批判すべき余地のない絶対的権力を有する場合は悪い方向に展開することが多い。

今日のひとこと (38) 「情熱」

翼はあるが飛べない鳥がいる、翼はないが人間は飛行機をつくり空を飛び回ることができるようになった、これは情熱の差、執念である。

しかし、野生化した鶏は野犬から身を守るため飛ぶという、飛ぶことを忘れた鶏も命懸けで羽を動かせば飛ぶ事ができる。

今日のひとこと (39) 「戦わずして勝つ」

自分（自社）より格段に優れている相手とはまともに張り合うな、戦わずして勝つ方法もある。また、張り合う価値も無い相手とは争うな。

今日のひとこと (40) 「朝令暮改」

人生や経営には「朝令暮改」も必要である。

社会、政治、経済、考え方等全ては生き物であり日々急速に変化している、これらの状況や考え方の変化に即応して軌道修正し、こだわりを捨てて決断を変える勇気を持つことも必要である。

今日のひとこと (41) 「信念」

もし、あなたが敗れると考えるならあなたは敗れる。

あなたがどうしても考えないなら何一つ成就しない。

あなたが「勝ちたい」とは思っても「勝てないのでは」と考えるならあなたに勝利は微笑まない。

もし、あなたがいい加減にやるならあなたは失敗する。

我々がこの世界から見出すものは、「成功は人間の意志によって始まる。」

「すべては人間の精神状態によって決まる」ということだ。

もし、あなたが脱落者になると考えるならあなたはそれとおりになる。

あなたが高い地位に昇りたいと考えるなら勝利を得る前に、「必ずできる」という「信念」を持つべきだ。

人生の戦いは常に強い人、早い人、賢い人に歩があるのではない。

勝利を獲得する人は「強い信念の持ち主」である。

ナポレオン・ヒル「成功の哲学」より

今日のひとこと (42) 「社員評価基準順位」

1. 新しいことに挑戦し成果をあげた人
 2. 新しいことに挑戦し成果があがらないまたは失敗した人
 3. 現状に甘んじて成果を出している人
 4. 現状に甘んじて成果があがらないまたは失敗している人
- さて、あなたはどのタイプ？

今日のひとこと (43) 「気づく心」

きれいな花があるわけではない、花を見て美しいと思う人間の心があるだけだ。

また、感動する言葉や行いがあるわけでもない、よい言葉や行いに気付き感動する心を持っているかどうかである。

小さなそれに気付くか無関心かは後々大きな差となって現れる。

今日のひとこと (44) 「コンコルドの悲劇」

パリ・ニューヨーク間を3時間45分で結ぶエア・フランスの超音速旅客機コンコルドは、開発途中から莫大な費用に対し採算性が無いことは分かっていた。

しかし開発を途中で断念することができなかった。

「今までの苦労と費用を無駄にしたくない」「期待に背きたくない」などの理由で見切りをつけられずに漫然と突き進み、最後は破綻した。

このようなことは国の政策や企業の失敗例として結構多い。

今日のひとこと (45) 「見ぬふり」

世の中には両目を開いてきちっと見るべき事と、片目つぶってちやうどよいものと、見て見ぬふりをしなければならぬ事がある、何でも見えすぎるのも考えものである。

今日のひとこと (46) 「知と情」

経営には「知の管理」と「情の管理」があり、三分の知に七分の情といわれる。情が無ければ知や理だけで人は動かない。

また、「知」の世界は理屈の世界であり、「情」は理屈抜きの世界である。

世の中には理屈で解決できない世界があることを知れ。

情の世界に理屈を持ち込むことを「屁理屈」という。

今日のひとこと (47) 「続ける情熱」

誰でもある時期、情熱になることはある。ある人は30分間熱中できるし、ある人は30日間続く、しかし人生の成功者は30年間情熱が続く人である。

今日のひとこと (48) 「問題の解決方法」

- ・ 目的は何か、手段と目的をはっきり確認する、手段が目的化していることが多い。
- ・ 問題点に優先順位をつけ縦に並べると解決の糸口がみつかる。全ての事を横並びにして同時に解決しようとするパニックに陥る。
- ・ 本音が建前かを区別する、建前論を並び立てるといかにも正論に聞こえ錯覚する。
- ・ 一步も譲れない事か、どうでもいいことを考える、たいていのことはどうでもいいことである。また、どうでもいいことがどれだけあるかがその人の人間としての幅である。そう考えると肩の力が抜けて楽になる。
- ・ 「なぜ？」を突き詰めても解決しない、「いかに」を考える。学校社会は「なぜ」だが、実

社会では「いかに」を考える。

今日のひとこと (49) 「伸びる企業の特徴」

1. 独自の技術力、営業力をもっている。
2. 人を大切に行っている (人材開発・育成)
3. 経営者のビジョンが明確で部下が理解し行動している。

今日のひとこと (50) 「ストレス」

「怒る」「ひがむ」「ねたむ」の行為は最もエネルギーを使いストレスがたまる。

今日のひとこと (51) 「欲」

人間に欲は必要である、有りすぎるのも無さ過ぎるのも良くない、特に欲が無いのが問題、一見きれいに聞こえるがその実、骨を折ることが嫌い、精を出すことが嫌いで怠け者の証である。

今日のひとこと (52) 「バカな指揮官、敵より怖い」

指導者、リーダー、社長の資質が組織の運命を左右する。

企業がつぶれるのはライバルや不況のせいではない、内部特にトップに原因がある場合が多い。

今日のひとこと (53) 「メラビアン之法則」

話し手が聞き手に与えるインパクトには三つの法則があり（3Vの法則）、それぞれを数値で表すと、

Visual…視覚情報（見た目・表情・しぐさ・視線）↓

55%

Vocal…聴覚情報（声の質・速さ・大きさ・口調）↓

38%

Verbal…言語情報（内容・言葉そのものの意味）↓

7%

政治、経済、ビジネスの世界において視覚情報の重要性を説いたものである。今回の総選挙においても、各党首の演説をもとに、自民党圧勝民主党惨敗の結果と比較してみると参考になり面白いですね。

今日のひとこと (54) 「失敗例より学ぶ」

成功例は運も含め複合的な要素の組み合わせで成り立つことが多く参考にならない、むしろ失敗例には大きな原因がある場合が多く次の成功が見えてくる、失敗例より学び取れ。

今日のひとこと (55) 「運をつかむ十か条」

1. 自分に「一番都合のよいこと」をイメージする。
2. 頭だけで「分かったこと」にしない。
3. 成功例と失敗例を議論する。
4. やると決めたら「断固として」やる。
5. 借りは「一日早く」返す。
6. 「納得できない妥協」はしない。
7. 「尊敬できる人」をとことん観察する。
8. 知力と体力を「同時に」磨き続ける。
9. 使うべきところにしっかりとお金を使う。
10. 「予行演習」を欠かさない。

今日のひとこと (56) 「問題解決」 12

- ・うまくいかなかったことをやらない
- ・うまくいったことをやってみる
- ・うまくいっていることを続ける
- ・最後に、自分にとって得か損かを考える

今日のひとこと (57) 「実現」

自分が正しいと思うことを実現させるには、それがいかに正しいかを説得し議論するだけでは実現しない、どうやれば自分が思うことを実現できるかを考える。

今日のひとこと (58) 「考えるな」

考えるな、考えるな、考えたたら浅智恵が出るぞ、頭を空っぽにしろ、空っぽの頭に天の智恵がひらめく。

今日のひとこと (59) 「天敵」

傷みやすい魚「鰯」（いわし）を遠距離に輸送するときは輸送用のイケスに「なまこ」を入れるという、鰯が大嫌いな「なまこ」を同居させることにより活気づきロスを減らし活きのいい魚を輸送することができ、人間もおなじである。

あいつがいるから俺がある。

天敵やライバルもそのように見ると面白い。

今日のひとこと (60) 「松下幸之助成功の秘密」

それは彼に「学歴と金と健康」が無かったことである。

今日のひとこと (61) 「土俵のケガ」

土俵のケガは土俵の砂で治せ、ケガのたびに休んでいたのでは勝負師にはなれない。

（初代若乃花）

要するに、仕事の疲れは仕事で癒せ、疲れるたびに休んでいたのではプロの仕事師にはなれない。

今日のひとこと (62) 「嫌われ役と嫌われ者」

組織には嫌われ役が必要である、嫌われ者とは違う。

私利私欲が絡み、保身的な人は嫌われ者になる。

嫌われ役を怖れてはならない。

今日のひとこと (63) 「汗の匂い」

仕事に汗は付き物である、汗をかかないで仕事をしようと思うな。

人は仕事の汗の匂いを信頼し、汗の匂いについて行く。

(注釈)

労を惜しみ楽をして小手先だけでごまかしても人からそれは見抜かれると言うことである。

今日のひとこと (64) 「任せ方」

「新しい仕事」は実績のある社員に任せる、「新しい人」には順調に運営されている仕事を任せる。

今日のひとこと (65) 「やる気」

やる気は、成功の確率が五分五分くらいのときに一番発揮される。(がんばれ社長より)
確率が高すぎても低すぎてもやる気が出ない。

今日のひとこと (66) 「強さと優しさ」

人は強さを極めると優しくなれる、強くなければ優しくなれない。
弱い人の優しさは偽善である。

今日のひとこと (67) 「企画ごっこ」

「お勉強大好き人間」は行動を前に延々と準備と学習に時間を費やし、企画立案シンドローム（症候群）に陥る。（頑張れ社長より）

「企画ごっこ」で仕事をしている錯覚に陥るな。

注釈・企業に「企画立案シンドローム」が蔓延すると、無駄な会議と新たな課が増え組織は膨張肥大化し人は益々忙しくなる。

今日のひとこと (68) 「幸福人」

幸福人とは過去の自分の生涯から満足だけを記憶している人々のことであり、不幸人とはその反対を記憶している人々である。（萩原朔太郎）

今日のひとこと (69) 「公平と公正」

公平に分配すると不満が出る、能力・貢献度に応じ公正に分配すべきである。

公平とは結果主義で結果が平らで偏りが無いこと、公正は成果主義で貢献度に対しルールや透明性を明確にして分配すること。

今日のひとこと (70) 「おかげさま」

「良いことはおかげさまで、悪いことは身から出たさび」(あいだみつお)

今日のひとこと (71) 「貴賤」

職業に貴賤はないが、生き方に貴賤はある。(勝海舟)

今日のひとこと (72) 「格好いい瞬間」

極めた人の格好いい瞬間には、9割の格好悪い時間と1割の華やかさがあることを知れ、人は華やかな部分のみをみる。

今日のひとこと (73) 「感謝・感激・感動」

特に感動は伝染する。組織に感動があると活気づく。



今日のひとこと (74) 「成長企業 社長の条件」

成長企業「社長の条件」(週刊読売より)

1. 大きな夢を持ち、分かりやすい目標を立てて実行している
2. 仕事に対する思い入れや情熱が強い
3. 疲れを知らずタフである
4. いつも前向きであらゆる状況をチャンスとしてとらえ直す力がある
5. 何でも知ろうとする、好奇心が旺盛である
6. 小さなアイデアでも軽視せず発想を広げる器量がある
7. 声が大きく、話がわかりやすく明るい
8. 何事も素早くやらなくては気がすまない
9. カリスマ性があり、貧相ではなく福相である
10. ハングリー精神が旺盛で勘が鋭い

* この条件は社長に限ったことではない全ての人に当てはまる、自分を見直そう。

今日のひとこと (75) 「四苦八苦」

釈迦の言葉、全ての人が苦しむ四つの苦しみ「生・老・病・死」を四苦という。

これに、「愛別離苦、怨憎会苦、求不得苦、五陰盛苦」の四苦を加えて四苦八苦という。

「愛別離苦」(あいべつりく) : : 全てに終わりがあり愛する人とも必ず別れなければならな

い苦しみ。

「怨憎会苦」(おんぞうえく) : : 人は、恨み憎む人と出会い、ともに生きていかなければな

らない苦しみ。

「求不得苦」(ぐふとっく) : : 求め欲するものが手に入らない、自分の思いどおりにならな

い苦しみ。

「五陰盛苦」(ごうんじょうく) : : 五感があるために不要なものも感じ欲望と戦わなければ

ならない苦しみ。

今日のひとこと (76) 「最悪を想定」

最悪を想定して最善を尽くせ。

最悪を考えて事に当たれば心にゆとりができる。

今日のひとこと (77) 「謀反」

「自ら謀反人となることを怖れてはならぬ、新しいものは常に謀反である」

(徳富蘇峰「謀反論」より)

新思想を導いた蘭学者にせよ、局面打開を事とした勤皇の志士にせよ、時の権力から言え
ば「謀反人」であった。

社内改革、謀反を怖れてはいけない。

今日のひとこと (78) 「負けに訳あり」

「勝ちに不思議な勝ちあり、負けに訳あり」

(野村克也監督)

「負けて相撲を教えられ」

（相撲界のことわざ）

ともに、成功や勝利よりも失敗や負けの中に学ぶべきことが隠されていることの教え。

今日のひとこと（79）「一流の社長」

三流の社長は金を残し二流の社長は名を残す、一流の社長は人を残す。
金を残すは下、事業を残すは中、人を残すは上

今日のひとこと（80）「ヒューマンポイズン」

ヒューマンポイズンとは人が放つ毒のことであり、周りを不愉快にして他人にストレスを与える、具体的には命令口調・冷たい態度・横柄・頑固・きつい言葉・自分勝手・見下した態度・けんか腰・挑戦的・自分の非を認めない、慇懃無礼などがある。

放つ毒が強い人ほど自分の毒に毒され、歳とともにその毒気はますます強くなる。

今日のひとこと (81) 「人と仕事」

欧米の企業と日本の企業の違いは「仕事に人がつく」か「人に仕事がつく」かである。

欧米では労働契約即ち自分の仕事しかない、かたや「人に仕事がつく」日本の企業は適材適所に仕事配分され、結果として有能な人材に仕事集中する傾向がある。

そしてみんな「だから自分が一番忙しい」と思っている。

「さばけないから忙しい」のか「有能だから忙しいのか」

さてあなたは？

今日のひとこと (82) 「勝者の言葉」

「オリンピックは参加する事に意義がある」というクーベルタンの有名な言葉があるが、この言葉は勝った者が言う台詞（せりふ）である。

今日のひとこと (83) 「直感力」

「直感的」に分かるということは、一瞬にして全体のイメージがつかめるということである。論理的に解釈できたということは、本当に納得できたことではない。

分かるということはイメージ的に分かるということである。（湯川秀樹）

今日のひとこと（84）「感謝・感恩」

満たされていても満たされていることに実感が湧かない人は、永久に「飢え」から解放されることはない。

「感謝」（ありがとう）と「感恩」（おかげさまで）の感性が乏しい人は、永久に求め続ける人生となりある意味地獄である。

今日のひとこと（85）「叱る」

「叱らなければならないときには叱る、ためらったり上手に叱ろうなどと考えずに直情径行でよい。」（松下幸之助）

今日のひとこと (86) 「怒られ上手」

怒られ上手になれば、上司に可愛がられ成長する。

コンプレックスが強いのかプライドが高い人は怒られ下手が多い。

今日のひとこと (87) 「Cool head & Warm heart」

常に判断は冷静かつクールに、心には熱き情熱を

今日のひとこと (88) 「信念と頑固」

幅広い視野と経験から価値観などが確立され、自分の人生哲学に基づいて貫き通すのを信念といい、裏づけもなくただ自分の意見を押し通すのを頑固という。

今日のひとこと (89) 「批判」

「よく言った、それをあんたがやってくれ」

自分がやれない、やらないことを批判するな。

今日のひとこと (90) 「人生の帳尻」

世の中は全てうまくバランスがとれていてどこかで帳尻があう、人生もどういいうわけか死ぬとき一生の帳尻が合うという。

今日のひとこと (91) 「当たり前のこと」

当たり前のことを当たり前にすれば、当たり前のことが当たり前にできる。

成功の秘訣は、A、B、C即ち（A）当たり前のことを（B）馬鹿にしないで（C）ちゃんとやる。

今日のひとこと (92) 「桜」

散る桜、残る桜も散る桜 (良寛和尚時世の句)

今日のひとこと (93) 「実践かつ現実的」

如何なる論理的な議論もそれが実践的かつ現実的であるか、即ち実現可能かどうかを最後にチェックせよ。

どんなに正しい論理的な説明も実践的、現実的でなければ無意味である。

今日のひとこと (94) 「男の失敗」

「酒癖、バクチ癖、女癖」は馬鹿と同じ、死ななきや直らない。

また、昔から男が一生を棒に振るのも酒、女、バクチといわれる。

特に始末におえないのはバクチ、金額が一瞬にして膨れ上がる、次が女で手切れ金の範囲で住む、酒は家・財産を減ぼす前に体を壊すので比較的被害が少ない。

今日のひとこと (95) 「職場内成功の四原則」

1. 職場を好きになる
2. 上役、同僚、部下に好意を持つ
3. 仕事の価値を認める
4. 仕事に改善と変化を求める

今日のひとこと (96) 「否定と肯定」

NOよりYESの言葉が多い人は強い、NOを言わないで自己主張ができる人にはかなわない。

また否定の言葉から会話が始まる癖のある人はトラブルが絶えない。

今日のひとこと (97) 「企業のとうし」

- ・人材や設備の「投資」
- ・挑戦する「闘志」
- ・先見性に対する「透視」

今日のひとこと (98) 「今がその時」

一瞬一瞬を大事に、そしていつも「今がその時」と思えば悔いが残らない、そしてお迎えが来たときがその時。

今日のひとこと (99) 「大きな視野」

真剣勝負の時は相手の目、剣、足許を見るのではなく遠くの山を見よ。(宮本武蔵：五輪の書)
大きな視野で全体をみる事。

特に技術端の人は製品や技術にとらわれ市場を見ない傾向があるので注意が必要である。

今日のひとこと (100) 「心の葛藤」

問題やトラブルはそのものの本質の是非よりも人間の心の葛藤が事を複雑に大きくしている場合が多い。客観的に判断せよ、意地を張るな。

今日のひとこと (101) 「風」

正しいと信じたことをやり続ければ必ず後から風が吹く。

今日のひとこと (102) 「矛先を収める」

自分の気持ちの切り替え、心の整理が出来ない人は常に複雑な人間関係に陥りトラブルが耐えない。「おとな」とは「矛先の収め方」すなわち自分の気持ちを整理、コントロールできるひとのことである。

今日のひとこと (103) 「残るもの」

「人が死ぬとき後に残るのは、それまで集めてきたものでありません。与えてきたものだけが残るのです。」

(南蔵院第二十三世住職 林覚乗)

今日のひとこと (104) 「重要なことは押し付けよ」

重要なことに説得も納得もいらない、理屈抜きにだめなものはだめ、やらなければいけないものは命令する。

一見民主的で理解ありそうな指導者は組織をまとめることが出来ない。

(藤原正彦「国家の品格」より)

今日のひとこと (105) 「任せる」

リーダーがすべきことは(1)戦略を立てる(2)実行する(3)責任を取ることであり、また、「任せる」とは「まる投げ」することではない、リーダーは戦略を立てて、部下に権限を与え

て実行させ、その結果に対しては自分が責任を取るということである。

今日のひとこと (106) 「暗転言葉と陽転言葉」

「暗転言葉」とは、不平、不満、愚痴、開き直り、悪口、後悔など破壊的な言葉を言い、多用すれば心の癌（がん）になる。逆に「陽転言葉」はその逆で建設的な言葉であり自分や周りを幸せにする効果がある。

また「心の癌の特効薬」は「ありがとう」と「ごめんなさい」である。

今日のひとこと (107) 「決断に必要な資質」

リーダーが決断するときに必要な資質は、「直感力」「説得力」「責任力」である。

今日のひとこと (108) 「全ては借り物」

私とは何か、この肉体も親祖先からの一時的な授かりもの、私物、財産も一時的に預かっているだけ、死んであの世に持っていけるものなど何もない。

あるのは「私」という意識」だけに過ぎない。

今日のひとこと (109) 「悲観と楽観」

悲観的に準備し楽観的に行動しよう、逆の場合はほとんど失敗する。

今日のひとこと (110) 「順応」

強い種や賢い種が生き残るのではない、変化に最も順応できる種が生き残るのである。

・・・ダーウィン「種の起源（進化論）」

人間も社会の変化や周りの流れに適応することが肝要である。

今日のひとこと (111) 「愚者雷同」

愚者は雷同する、愚か者はわずかな衝撃やショックにわれを失い、オロオロして正常な判断ができなくなる。

今日のひとこと (112) 「利」

事業の基本は「仁」「義」「徳」「誠」であり、これらを基に「利」は成り立つ、社会貢献、社会同化しない企業に利益は生まれない。

今日のひとこと (113) 「やってみる」

やらずしてなぜ出来ないと分かるのか。

(松下幸之助)

今日のひとこと (114) 「失敗の悪循環」

失敗は誰でもする、失敗が悪いのではない、失敗の悪循環に陥るのが良くないのである。
悪循環に落ちいらないために

- ・ 失敗を分析する
- ・ 自分を客観視する、
- ・ 自分で抱え込まない、人に相談する
- ・ 柔軟な発想、決め付けない、「まっいっか」の考えを持つ
- ・ パニックに陥らない、悲観的にならない
- ・ All or Nothing ではない、中間で妥協する
- ・ 「もう一人の自分」という親友を持つ、その親友が自分のことを一番知っているから。

今日のひとこと (115) 「確立50%の法則」

人が潜在能力を最大限に発揮するのは成功確立が50%のときである。
高すぎても低すぎてもやる気をなくす。

目標や夢を達成するには50%の確立を設定せよ。

今日のひとこと (116) 「愚痴」

愚痴や捨てぜりふはぐっと呑み込め、こぼしたり吐いたりするな。

今日のひとこと (117) 「道」

剣術や柔術に「魂」が入り精神論が加わると「剣道」「柔道」となる。

企業経営も経営学に魂、精神論を入れて「経営道」を極める努力をしなければならない。
経営学で経営は出来ないといわれる所以である。

ちなみに、「道」を極めることを「極道」と言う。

今日のひとこと (118) 「生きる苦しみ」

人間は「いやな世の中で生きなければならないのか」と泣きながら生まれてくる、苦しみの始まりである、そう言えば笑いながら生まれてはこない。

お釈迦様の言う、全ての人に与えられた四苦、即ち「生」「老」「病」「死」では「生」すなわち生きること苦しみのうちと論している（あと四つで四苦八苦という）。

長寿社会というが、お年寄りを延命だけを目的に無理してこの世に引き止めるのも酷なものである。

また、「生んでくれと頼んだ覚えはない」という子供の憎まれ口もなんとなく分かる気がする。

今日のひとこと (119) 「衆議独裁」

みんなに相談し議論はするが、最終的に決断するのは数に頼らず責任ある一人の人間であり、リーダーは孤独に耐えなければならぬ。

企業の意味決定は民主的多数決で決めるものではない。

今日のひとこと (120) 「仕事の搾り出し」

仕事や作業の中には必要なものと不必要だが気づかず習慣化しているものがある、不必要な仕事は搾り出せ。

「Work Out」：ジャック・ウェルチ（GE元CEO）

ちなみに「仕事」とは結果を求め、心をこめて行う動作のことであり、「作業」とは何も考えず機械的に処理する動作である。

- ・もう一度社内の仕事を見直しコストを考えよう。
- ・作業ではなく仕事をしよう。

今日のひとこと (121) 「運命は性格なり」

運命と言うが、意外と自分自身の性格に起因していることが多い。

今日のひとこと (122) 「マッチ売りの少女」

マッチ売りの少女は、貧しい親孝行少女の悲しい物語であるが、マーケティング教材の例として経営学的に見るとやり方が悪い。クリスマスイブにはそれなりの品揃えをして服装、挨拶、売る場所など営業努力と工夫をすべきである。たまたまその日は売れてもいずれ死んでいく運命にあり、現代版マッチ売りの少女は意外と多い。

今日のひとこと (123) 「真理」

「VERITAS」これはラテン語で「真理」という意味であり、私がハーヴァード大学を訪れた時大学の構内に刻まれていた。

真理を探究せよ、本質を見る目を養えということです。

言葉や理屈では分かっているが本質を見失い、実際は本末転倒に振り回されていて錯覚に気づかない人は多いものである。

影響力の大きい指導者、管理者、リーダーといわれる人には特に要求される。

今日のひとこと (124) 「まじめな人」

「まじめ」な人には次の四通りある。

1. 「まじめ」で「できる人」
2. 「まじめ」で「できない人」
3. 「ふまじめ」で「できる人」
4. 「ふまじめ」で「できない人」

1と4は当たり前、一番困るのは二番目のタイプである、世の中には目に見えない法則やコツがあることを知れ、俗に言うズレている人である。

今日のひとこと (125) 「屏風」

屏風は広げないと立たないが広げすぎると倒れる。

何事も過ぎるのは良くない、微妙なバランスを大事に、「花もほどほど」である。

今日のひとこと (126) 「上司に求められる要素」

1. マネジメント (組織をまとめる)
 2. ティーチング (教える、指導する)
 3. コンサルティング (助言する)
 4. コーチング (能力を引き出す)
- 以上の四項目が上司には常に求められる。

今日のひとこと (127) 「始まりと終わり」

終わりと言うものは無い
 始まりと言うものも無い
 人生には無限の情熱があるだけだ
 始まりと思うのも自分
 もう終わりだと思うのも自分

(フエデリコ・フェリーニ)

今日のひとこと (128) 「右脳と左脳」

右脳を鍛えておけ、右脳とは情緒、感情、直感力、第六感などである。左脳とは知識や計算など論理的に支配されている部分

今日のひとこと (129) 「素直力」

学びが活きる人と、活きかたが不十分な人の分岐点は「素直力」である。
成長の第一要件は素直な心である。

今日のひとこと (130) 「購入判断」

物品を購入するときは常に

「なくても良い」ものか「あれば便利」か「なければ困る」ものなのかを考える。

今日のひとこと (131) 「人間と殺戮」

動物は生きるためお互いに他の動植物の命をいただく、これは神様も認める自然の摂理である。

人間以外の動物は、縄張りや雌の奪い合いなどの争いをして、決着がつけば殺しまでしない。

しかし、自己の欲望や憎しみの為に同族間で殺しあうのは人間だけである。

人間はこの点において他の動物より劣る。

今日のひとこと (132) 「成功と犠牲」

「成功」と「犠牲」は表裏一体のものだ。ささやかな成功でかまわないなら、犠牲も少しで済む。しかし、大きな成果を出したいと思うなら、犠牲を払うことをためらってはいけない。

(ジョン・C・マクスウェル)

今日のひとこと (133) 「陰徳あれば陽報あり」(淮南子)

陰で密かに善いことを行っていれば後で必ずよい報いを受ける。

今日のひとこと (134) 「上手な話し方」

1. 相手の顔を見て話す。
2. 笑顔で話す。
3. その場にふさわしい声の大きさ、高さで話す。
4. どんな話題にもついていける。⑤ 会話の流れを考えて話す。
5. その場にふさわしい内容の話をする。
6. 相手に失礼のない言葉を使う。
7. 相手の気持ちを考えて話す。

今日のひとこと (135) 「上手な聞き方」

1. 沈黙 口を挟まず最後まで聞く。
2. うなずき 相手が話しやすくなる。
3. あいづち 相手が話を聞いてくれていると思う。
4. くり返し 相手がしっかり聞いてくれていると思う。
5. 要約 相手が良く理解してくれていると思う。
6. 質問 勝手に話させるのではなく、整理をしてあげるのが上級。
7. 心の汲み取り 言葉に無い気持ちを察してやると何でも話す気になる。

今日のひとこと (136) 「批判より提案」

批判だけなら誰でもできる、提案無き批判を無責任という。

今日のひとこと (137) 「習うより慣れろ」

理屈だけにこだわらずまず実行、経験が慣れとなり進歩する。

今日のひとこと (138) 「社員の目」

上司が社員を見抜くには三年掛かるが、社員は上司を三日で見抜く。

今日のひとこと (139) 「上手な交渉術」

「上手な交渉術」

1. 権限を持った人と交渉する
2. 相手の自尊心を傷つけない
3. 損と得を明確にする
4. 前提を決めて交渉する
5. 相手の反論を受け入れる
6. 譲歩をする

今日のひとこと (140) 「見切り」

常に革新的で前向きな人は、同時に「引き際」を見誤ってはならない。

潮時、見切りをつけられず失敗したひとは多い。

始めること進むことより引く事、見切りをつけ終える方が難しい場合もある。

今日のひとこと (141) 「責任を果たす」

「責任を取る」という言葉は一見カッコいいがどうやって責任を取るのか、謝れば済むのか、腹でも切るのか？ 坊主になってもお笑いだ、首をもらってもしょうがない。

「責任を取る」より「責任を果たせ」

今日のひとこと (142) 「叱るとほめる」

叱ることの出来る人にほめる権利がある。

逆に、言うべきことを言わない、しかることの出来ない人の優しさは偽善である。

今日のひとこと (143) 「経営者意識」

出来るかできないかがいえる世界に居る人は経営者意識以下に居る人であり、やるしかない世界に居る人はそれ以上に居る人である。

「出来るかできない世界」と「やるしかない世界」との差は天と地の差がある。

今日のひとこと (144) 「追い風」

追い風とは目的地に向かって航海する船に後ろから吹く風であり、目的地を持たない船に吹く風を追い風とは言わない。

同じく、目的を持たない人に追い風は吹かない、常に目的に向かって進め。

今日のひとこと (145) 「生きてる証拠」

痛み、苦しみ、悩み等は生きている証拠である。

あたりまえのことだが死ねば痛みや苦しみから開放される。

今日のひとこと (146) 「叱(しか)る価値」

自分を叱ってくれる人が何人いるかがその人の財産である。

悪いことや間違ったことをしたから叱るのではない、間違いは誰でもする、人は叱る価値もない人やどうでもいい人を叱らない。

逆に叱られるということは叱る価値があるからである。

今日のひとこと (147)

「コミュニケーション力をつける報連相七ヶ条」

1. 悪い報告は絶対に隠さない (報告)
2. 相手の状況や気持ちを考えて報告する (報告)
3. 要点と5W1Hを明確にする (報告)
4. 相手に連絡が伝わったか必ず確認する (連絡)
5. 責任を他人に押し付けない (連絡)

6. 問題の解決のため上司を積極的に利用する（相談）

7. 相談は信頼感や人間関係を深める手段と考える（相談）

日経新聞 2007/3/17より

今日のひとこと (148) 「確信」

確信をもっているかのように行動せよ、そうすれば次第に本物の確信が生まれてくる。

（ゴッホ）

「Act as if」あたかもそのように振舞え

今日のひとこと (149) 「儲ける」と「儲かる」

「儲ける」とは利益をだすことを目的とした現時点での行動であり、「儲かる」とは儲ける行動が仕組みとなり継続的行動が結果的に利益を生む状態である。

儲かる仕組みを作れ。

今日のひとこと (150) 「市場の成熟と企業の戦略」

企業の成長が止まる原因は市場が成熟したからではない、個々の企業の戦略が失敗したからである。

今日のひとこと (151) 「禁句」

禁句には対外禁句と自己禁句がある。

対外禁句とは寅さんの「それを言っちゃあおしまいよ」。

自己禁句とは、自分に対して口にしてはいけない言葉であり、「暑い」「寒い」「忙しい」「疲れた」「きつい」「辛い」「いやだな」などである。

人は忙しいから疲れるのではなく、「疲れた」を口にするから疲れるのである。

また言ってもどうにもならないことは言うな、空しくなるだけ。

他に、「分からない」「難しい」「できない」「言い訳」なども禁句である。

禁句は中毒になり口癖になるので注意を要する。

今日のひとこと (152) 「男の修行」

苦しいこともあるだろう

言いたいこともあるだろう

不満なこともあるだろう

腹の立つこともあるだろう

泣きたいこともあるだろう

これらをじっとこらえていくのが男の修行である。

(山本五十六)

今日のひとこと (153) 「天は二物を与えず」

天は二物を与えず、というが逆に言うとな人は必ず長所、優れているものを一つは持っているというのである、その長所を見つけ出し伸ばせ。

一物もあれば充分である。

今日のひとこと (154) 「人持ち」

「金持ち」になるより「人持ち」になれば、人脈、人付き合いは大きな財産である。

今日のひとこと (155) 「道徳と経済」

道徳の無い経済は罪であり、経済の無い道徳は陳腐である。(二宮尊徳)

今日のひとこと (156) 「倫理」

倫理とは出来ることとやってはいけないことの分別がつくことである。

法律に触れなければ何をやってもよいというのは間違いである。

倫理、道徳、マナーは法律以前に人間として身につけなければならない最低の得であり、法律と倫理のバランスが重要である。

また、自分は正しいと思ってやったとしても、今まで保たれていた調和(人間関係)が崩れるならば、それは間違いである。

今日のひとこと (157) 「勘」

勘というと、一般的には非科学的で、あいまいなものに思われるけど、修練に修練を積み重ねたところから生まれる勘というものは、科学でも及ばぬほどの正確性、適確性を持っている、そこに修練の尊さがある。

今日のひとこと (158) 「英雄」

英雄がその生涯を通して英雄であり続けたことはなく、人生のある期間においてきわめて英雄的であったに過ぎない。

人生には「ここぞっ!」というときが幾度となくある、その時の踏ん張りが勝負どころである。

今日のひとこと (159) 「数字」

数字はうそをつかない、うそをつく人が数字を利用する。

今日のひとこと (160) 「法」

法は人を見て説け、相手によっては反発を買うだけである。

法とは普遍的な社会規範、社会道徳、社会の決まりごと、社会常識を指す。

今日のひとこと (161) 「聞き上手」

無口と聞き上手は違う、単に口下手なだけの人もいる。

むしろ本当の話し上手は聞き上手でもある。

聞き上手だから話し上手になれる。

今日のひとこと (162) 「人との付き合い方」

「人との付き合い方」

腹を割って付き合わない。(禅の心得)

人間関係は「付かず離れず」が基本、ほどほどが長続きする。

今日のひとこと (163) 「差別化」

分らないのではない、調べれば、聞けば分かる

出来ないことはない、現にやっている人がいる、同じ人間、やってやれないはずはない
難しいはありがたい、難しいことをやり遂げるから差別化になる

差別化とは人のやらない、出来ないことを人より早くやることである。

今日のひとこと (164) 「無題」

「よく言った、それをあんたがやってくれ」

(説明不要)

今日のひとこと (165) 「怖い人」

世の中で一番怖い人、それは私利私欲のない人、無欲の人である。

特に、命がけでやる、殺されてもやる、命も惜しくない人ほど怖いことはない。

今日のひとこと (166) 「長所でつまずく」

人は長所でつまずく、短所でつまずく人は少ない、なぜなら自分の短所はそれを自覚しているから用心する。

だが長所は、それで自分がつまずくなど思わずそれを変えようとは思わない、そこですます図に乗りオーバーランしてそれが裏目に出て失敗につながる。

長所でつまずかないためには「謙虚さ」が必要である。（「がんばれ社長」参考）

今日のひとこと (167) 「一芸」

「一芸に秀でよ」特に男は！

「一芸のない人はどうする？」「使われ上手になれ、それも一芸」、一芸もないくせに使いにくい男があぶれる。

「では女は？」「それだけで一芸」（笑い）

（浜田麻紀子講演会より）

女性の発言というところがミソであり、いまどき男性は発言を慎重に。

今日のひとこと (168) 「恩と仇」

恩は石に刻め、仇（あだ）は水に流せ

今日のひとこと (169) 「行動の差」

0%と1%の差は1、1%と100%の差は99である。

その差はどちらが埋まる可能性があるか？

0は永遠に0であり1%にはならない、1%は限りなく100%に近づくことが出来る。
一歩踏み出し行動を起こしたかどうかには天と地の差がある。

今日のひとこと (170) 「自分を合わせる」

世間は自分に合わせてくれない、自分を世間に合わせるしかない。

今日のひとこと (171) 「いやになる」

いやになれば辞めればいい、ただいやになるほどやったのか？

いやになるほどやりもせず、いやになるやつはこの次もまたすぐいやになる。

今日のひとこと (172) 「屈辱感に耐える」

「今の若い世代にもっとも欠けているのは『屈辱感に耐える』訓練である。

この訓練が行われないで、そのまま社会から大人あつかいされると、おのれのすること、なすことはすべて正しいと思うようになる」(遠藤周作)

今日のひとこと (173) 「指導方法」

指導方法には「絵画的指導」と「音楽的指導」がある。

絵画的指導とはその場はそのままやらせておいて、後で時間を経て落ち着いてから全体を注意指導する方法で、一方音楽的指導とはその場で、その部分を余韻が残っているうちに即注意指導するやり方である。

相手と時と場合により使い分けることが重要である。

今日のひとこと (174) 「システムと人間力」

組織が成熟すればするほどシステムやルールは高度化する、システムやルールが高度化すればするほど人間の判断能力（人間力）は低下する。

今日のひとこと (175) 「わかりきった顔」

わかりきった顔をしている奴が一番始末わるい。

（帝国ニュース2007、No699より）

今日のひとこと (176) 「逃げていくもの」

ひとの悪口を言えば言うほどひとが逃げていく

愚痴をこぼせばこぼすほどやる気が逃げていく

過去を語れば語るほど夢が逃げていく

今日のひとこと (177) 「犬の十戒」

「犬の十戒」(犬の私から、人間のあなたへ)

1. 私と、気長に付き合ってください
2. 私を信じてください、それだけで私は幸せです
3. 私にも心があることを、忘れないでください
4. 言うことを聞かないときは、理由があります
5. 私にたくさん話しかけてください、人の言葉は話せないけど解っています
6. 私をたたかないで、本気になったら私のほうが強いことを忘れないでください
7. 私が歳をとっても、仲良くしてください
8. あなたには学校や会社もあるし友達もいます、でも私にはあなたしかいません
9. 私は10年くらいしか生きられません、だからできるだけ私と一緒にいてください
10. 私が死ぬとき、お願いですそばにいてください、そしてどうか覚えていてください、

私がずっとあなたを愛していたことを (作者不詳)

犬が人間にお願いしていることは、人間同士でも同じことだということに気づかされます。

今日のひとこと (178) 「やる気」

やる気を出す方法は、とにかくそれをやり始めることである、やり始めると気分が乗ってくる。

一番よくないのはどうしようかなと悩んで体を動かさないである。

今日のひとこと (179) 「報酬か役職か」

人には報酬を上げて伸びる人と、役職を上げて伸びる人がいる。

特に難しいのは役職、間違うと上げて潰れる。

今日のひとこと (180) 「我を通す」

我を通すには「いじける」「すねる」「ごねる」とよい、周りの大人があなたをなだめその場は納まる。

ただし、これは癖になりいずれ人は去っていく。

今日のひとこと (181) 「意地と度胸」

人生ここぞというときの大勝負に意地や度胸で突き進んではならない、計算に計算を練り裏付けられた確信のもとに決断を下すべきである。

裏づけもなく突き進むことを「無謀」「やぶれかぶれ」という。
意地や度胸の使い方を誤るな。

今日のひとこと (182) 「大義名分」

大義名分がいかに立派であっても、それだけで人を奮い立たせることは出来ない。
安倍前首相の「美しい日本」がよい例である。

逆に小泉前首相は本音をわかりやすい言葉で説明して人気を博した。

今日のひとこと (183) 「金を掘るよりスコップを売れ」

ゴールドラッシュに沸く西部開拓時代、確率の低い金採掘に踊らされた人よりも金を掘る人にスコップ、ツルハシ、ジーンズを売った人が確実に儲かった。

「なくてもよいもの」より「なければ困る」もの、世間が求めているものを売れ。

「時流に踊らされるか、時流で儲けるか」

さてあなたはどのタイプ？

今日のひとこと (184) 「予兆の芽」

経営者、管理者は予兆を感じる直観力を身につけなければならない。

予兆には良性の芽と悪性の芽がある。

特に悪性の芽は早期に発見して摘んでおかなければならない。

今日のひとこと (185) 「心を開く」

伏せた茶碗じゃご飯はつげぬ、閉じた心じゃ話にならぬ。

今日のひとこと (186) 「挫折」

人生は挫折の連続である、失敗したり、怒られたり、打たれ慣れてない優等生はいざというときに弱い、挫折を経験し乗り越えると人は強くなる。

今日のひとこと (187) 「未来」

未来は今起きている。

今日のひとこと (188) 「仕事の頼み方」

仕事は忙しい人に頼め、忙しそうな人には頼むな。

今日のひとこと (189) 「電信柱と法律」

電信柱と法律は避けて通れ、まともにぶつかる奴は馬鹿だ。

(ロシアのことわざ)

今日のひとこと (190) 「ほめ方の達人」

人は褒(ほ)めると伸びる。

褒め方の達人は、第三者経由で褒める。

直接本人を褒めるのではなく、第三者に伝える。

第三者を通じ褒められると感動が倍増し、やる気が出る。

今日のひとこと (191) 「うしろ姿」

人間の魅力はうしろ姿に現れる、うしろ姿に表情を持て。

今日のひとこと (192) 「君子不器」(くんしうつわならず)

「人の上に立つものは、器になってはいけない」という意味。

器とは形や容量が決まっていて使い道が決められている、用途以外のものには使えない。

また器(うつわ)とは器量、器用の器であり、一つのことだけに秀でていて全体が見えないようではいけない、と言うことである。

そういえば、お皿やお茶碗でビールやワインは飲めませんね。

今日のひとこと (193) 「君子豹変」

ころころと変わる悪い意味に使われがちだが、本来は人の上に立つ者は自分の非を認め変化対応、臨機応変に対処しなければならないという意味である。

今日のひとこと (194) 「リーダーは太陽であれ」

リーダーは努力して育つものでもない、リーダーとしての天性の資質が自然発生的に生まれ研ぎ澄まされて光を放つものである、太陽であれ。

今日のひとこと (195) 「幸せ三か条」

- ・ 人の幸せと比べない
- ・ 人のせいにしない
- ・ むやみに欲張らない

今日のひとこと (196) 「辛いと幸せ」

辛いという字はもう少しで幸せになれそうな字である。

今日のひとこと (197) 「人」

人は弱い悲しいほど弱い、問題を起こすし手続きや雑用を必要とする。

また人は費用であり脅威でもある、しかし人が雇われるのは強みの故であり能力の故である、組織の目的は人の強みを生産に結びつけ人の弱みを中和することである。

(P・F・ドラッカー)

今日のひとこと (198) 「よい人間関係」

よい人間関係を築くには、「相談、雑談、冗談」

- ・人に相談する能力を持つ、内に抱え込まない事
- ・他愛もない話、雑談に人間味と奥深さが出る
- ・冗談が通じない、ユーモアのない人は敬遠される

今日のひとこと (199) 「頭のいい人」

頭のいい人は批評家に適しているが行為の人にはなりにくい、全ての行為にはリスクを伴うからである。

(寺田寅彦)

経営は行為であり、あまりに頭のいい人は経営に向いていない。

今日のひとこと (200) 「謝り方」

人は誰でもほめられると嬉しい、謝り方に人格がにじみ出る。

謝るときはただひたすら謝る、「忍」の一字。

「でも」「しかし」「あんたも」や「逃げ口上」を言うから「開き直り」「蒸し返し」になり話がこじれる。

「説明」しているつもりでも、相手にとっては立派な「言い訳」である。

「男は黙ってごめんなさい」これが謝り方のコツ

次世代経営者・管理者に贈る

今日のひとこと集

1

(人生編・経営編)

●●●●年●●月●●日 印刷・発行

発行 (株)アクセス 安武 史朗

印刷 (株)アクセス

熊本市中央区大江四丁目一六番一号
電話 ○九六(三七二)一〇一〇